

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
同十月二十日	同十月十日	同九月三十日	同九月二十日	同九月十日	同八月三十日	同八月二十日	同八月十日	同八月十日
二〇・五	二二・二	一五・九	二〇・五	二二・二	二三・〇	二四・六	二四・二	二四・二
五七・一	四五・七	四九・八	五七・一	四五・七	六四・七	八五・六	八八・七	八八・七
八三・八	八五・〇	八三・一	八三・八	八五・〇	八二・四	七五・七	七七・四	七七・四

第二陸 稻

耕種梗概
 選種 比重一・〇八苦鹽汁ニテ鹽水選ヲ行フ
 育苗 稻田苗代ニテ水陸折衷法ニヨリ育成ス
 浸種 清水ニテ七晝夜毎日二回換水ス
 播種 四月三十日
 播種量 坪一合
 移植期 六月十五日
 畦幅 二尺
 移植法 二條株間六寸ノ千鳥植トス
 肥料 反當用量左ノ如シ(但シ全部元肥トス)

肥料名	施用 量	所含三成分	加 里
厩肥	二五〇〇	〇・六五〇	一・五七五
下肥	一〇〇〇	〇・二八五	〇・二〇二
過磷酸石灰	七・五	一・四六三	一・一七〇
木灰	一〇〇〇	〇・三九〇	一・一七〇
計		二・七八八	二・九四七

除草 適宜之ヲ行フ
耕 三回

一 品種比較豫備試驗

本試驗ハ管内及他府縣ヨリ蒐集セル品種ニ就キ成熟ノ能分能時期及收量ヲ概知シ品種試驗ニ供用スヘキ品種ヲ選擇セントスルニアリ

品名	取寄先	出穂期	草丈	莖一尺間	粒一穗	穗長	成熟期	反當	備考
陸羽九號(糯)	陸羽支場	八月九日	二六二	一〇七	一五・一	七八	一〇・二七	〇・五五九	成熟稍良シ
陸羽十五號(糯)	同	八月六日	二四七	二六八	七五七	六二	一〇・二二	〇・七九五	刈取期迄ニ成熟不 充分
陸羽十六號(糯)	同	八月六日	二六一	三二〇	六六五	七二	一〇・二二	〇・七九元	刈取期迄ニ成熟不 充分
陸羽廿九號(糯)	同	八月七	二二七	三三八	三七一	五八	九・四	—	成熟概而良シ
長 會 島(糯)	春 滿州	八月二	二六一	一四〇	七〇三	六二	九・〇	—	成熟概而良シ
江 會 島(糯)	岩手縣	八月〇	二七五	三三三	六七〇	六八	一〇・一九	〇・七六一	成熟稍可
清 瀧(糯)	宮城縣	八月六	二九二	一九九	一五八四	七三	一〇・二〇	〇・八四八	刈取期迄ニ成熟不 充分ニシテ子實充 實セズ
古 早 生	青森縣	八月六	一八二	三九〇	三六七	四六	九・三	—	成熟概而良シ
戰 捷(糯)	茨城縣	八月三〇	二七二	一〇三	一〇八二	七九	一〇・一八	一・〇三三	刈取期迄ニ成熟不 完全ニシテ子實充 實セズ
凱 旋(糯)	同	八月八	二三四	一八七	六三八	六一	一〇・二五	〇・八二九	同

第三 粟

耕種 概 種子ハ一・一〇ノ比重ヲ有スル苦鹽汁ニテ鹽水選ヲ行フ
選種 五月二十九日
播種 反當一升
播種 條播(畦幅二尺)
肥料 反當用量左ノ如シ

肥料名	施肥量	所含三成分	加里
厩肥	二〇〇〇	一・〇〇〇	一・二六〇
人糞	一五〇〇	〇・八五二	〇・四〇五
大豆	五〇〇	〇・三六二	〇・〇七九
精過磷	五〇〇	—	—
木灰	五〇〇	—	—
計	—	二・二二四	—
間引及除草中耕	—	—	—
計	—	一・六七五	—
計	—	—	二・三二九

一 品種比較試驗

本試驗ハ良好ト認ムル品種ヲ管内及他府縣ヨリ蒐集シ收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較シ優良種ヲ選定セ

ムトスルニアリ
供試面積各區五坪

品名	取寄先	出穂期	成熟期	草丈	穂長	一升重量	反當收量
品名	取寄先	出穂期	成熟期	草丈	穂長	一升重量	反當收量
白秋穀	關東廳	八月十日	九月五日	三・〇七	五・〇	三・四	〇・九八四
八頭葉	同	八月十日	九月五日	三・二七	五・一	三・〇二	〇・九六七
頂子	同	八月十日	九月五日	三・三四	六・二	三・〇〇	〇・九六五
白沙	滿州公主領	八月五日	九月三日	三・三八	六・二	三・〇八	〇・九六五
刀把	同	八月五日	九月三日	三・三八	六・二	三・〇〇	〇・九六五
陸羽一純	陸羽支場	八月八日	九月三日	二・八五	四・八	二・八八	一・〇三三
陸羽二純	同	八月八日	九月三日	二・八五	四・八	二・八八	一・〇三三
陸羽三純	同	八月八日	九月三日	二・八五	四・八	二・八八	一・〇三三
信州	吉城郡	八月七日	九月三日	四・二五	八・一	三・一〇	一・五二九
赤粟	同	八月七日	九月三日	四・二五	八・一	三・一〇	一・五二九
防原	同	八月七日	九月三日	三・八五	七・三	三・〇二	一・二五八
三河	同	八月七日	九月三日	三・七九	五・五	三・〇〇	二・〇四〇
米孫	同	八月七日	九月三日	四・三	九・七	二・九六	一・九三
黒作	同	八月七日	九月三日	四・九	八・四	二・八六	二・〇〇〇
白ノ	同	八月七日	九月三日	四・〇〇	六・七	二・九〇	二・三〇〇
米孫	同	八月七日	九月三日	三・九七	六・三	二・八二	二・三二二
白カニ	同	八月七日	九月三日	三・二	六・七	二・九六	二・四四九
古川	同	八月七日	九月三日	四・八	一〇・一	二・九六	二・二九六
堅穂	同	八月七日	九月三日	四・八	一〇・一	二・九六	二・二九六

一 品種比較豫備試験

管内ヨリ蒐集セル品種ニ就キ其ノ優良ナルモノヲ選出シ品種試験ニ供セントス

品種名	取寄先	出穂期	成熟期	草丈	穂長	一升重量	反當收量
北海道	大野郡	八月八日	九月三日	三・六	六・〇	二・九六	一・七二六
黒糯	吉城郡	八月七日	九月三日	三・七一	八・二	二・九四	二・〇八〇
黒飯粟	同	八月七日	九月三日	三・四	四・二	三・三	一・二五二
猫ノ手	同	八月七日	九月三日	三・五〇	四・二	二・八八	〇・九八一
盆粟	同	八月七日	九月三日	三・六九	六・〇	三・二四	一・〇七三

三 粟播種期試験

粟ノ適當ナル播種期ヲ知ラントスルニアリ
供試品種 赤粟
播種量 反當一升
間引 三回
成績左ノ如シ

播種期	成熟期	草丈	穂長	一升重量	反當收量
五月三十日播	九月二七日	三・九六	七・三	二・九六	一・七四七
六月九日播	同	四・四六	六・一	二・八八	一・〇五六
六月二十日播	同	四・四一	七・三	三・〇二	一・七七二
六月九日播區ハ播種當時ヨリ降雨打續キ爲ニ發芽後ノ生育良シカラス					

第四大 豆

耕種梗概
 選種及瘦小ナルモノヲ除キ形狀整一充實セルモノヲ選フ
 畦幅株間 畦巾二尺株間一尺トシ一株三粒播トシ間引後二本立トス
 播種量 極大粒種反當三升五合大粒種三升中粒種二升小粒種一升六合
 播種期 六月七日
 肥料 反當過磷酸五貫 木灰五貫

一 品種比較試驗

本試驗ハ良好ト認ムル品種ヲ蒐集シ收量ノ多寡品質ノ良否ヲ比較シ優良品種ヲ選擇セントスルニアリ

品名	取寄先	成熟期	粒形	色澤	品質	重量	反當收量
陸羽四號	陸羽支場	10.10	中	黃	中	三五八	〇.五六〇
陸羽二十七號	同	10.13	中	黃	中	三七〇	〇.五五〇
燒豆一號	青森縣	10.14	中	黃	中	三六六	一.一三〇
目白一號	福島縣	10.13	中	黃	中	三七二	〇.九八〇
白八石二號	同	10.17	中	黃	中	三五〇	〇.七一〇
白毛九號	同	10.11	中	淡黃	中	三四二	一.二七〇
旭六〇號	同	10.11	中	淡黃	中	三五六	一.二五〇
達摩三號	同	10.04	中	淡黃	中	三八八	一.〇五〇
鳩殺吉	同	10.19	中	淡黃	中	三四六	〇.五八〇

第五甘 藷

耕種梗概
 植付距離 畦巾二尺 株間一尺五寸
 肥料 反當用量左ノ如シ
 油粕三貫 米糠四貫
 蔓除返 二回
 除草 二回

甘藷增收法試驗

試驗別	畦幅	株間	畦形	苗長	插苗方法	上 藷	屑 藷
增形法	二尺	一.五	增形	一尺	水平ニ地中一寸ノ深サニ埋メ先端ヲ地上ニ出ス蔓返シニ同行フ	三四六.二	二五.八
乘鞍法	二尺	一.五	乘鞍形	一尺	長船形ニ挿シ先端一寸地上ニ出ス蔓返シニ同行フ	三九〇.七	四一.七
船底形法	二尺	一.五	普通	八寸	船底形ニ挿苗シ蔓返ニ同行フ	二〇一.〇	七八.六
成績左ノ如シ						反當收量	
壇形法						三七二.〇	
乘鞍法						二四九.〇	
船底形法						一二二.四	

品種試作		品種試作	
蘇原白	青心	潮流球	屋久島
赤菘	新薩摩	白長濱	十五日
四日	眞榮里	佐久川	人參
ダナン	大屋小	天氣	川日
アメリカ	オイラン		

第六馬鈴薯 (十五種)	
長崎赤	アバンダンス
アイリーローズ	ホワイトエレファン
在來赤	エキस्पレンジエツト
ホワイトローズ	ノーザンスター
	メークイン
	ユリーカ
	アメリカンウオンダー
	リーブスローズ
	バーバントクスシードリング
	スノードロップ
	アイリーハーベスト
	毛取
	平床冷床
	温床ニ稻株ヲ置キ其ノ上ニ播ク

第七各種蔬菜									
播種期	茄子	胡瓜	南瓜	扁蒲	葱	牛蒡	胡蘿蔔	甘藍	西瓜
反當播種量	一合	三合	四合	三合	一合	一合	三合	四合	四合
播種法	高設半温床ニ點播ス	高設半温床ニ點播ス	高設半温床ニ點播ス	高設半温床ニ點播ス	一合	毛取	平床冷床ニ條播ス	温床ニ稻株ヲ置キ其ノ上ニ播ク	
	六月十六日	四月十六日	四月十六日	四月十六日	本年ハ當業者養成ノ苗ヲ購入ス	六月二十四日	六月二十六日	四月二十日	四月十七日

假植期	五月二十五日	五月二十五日	五月二十五日	六月二十四日	六月二十四日	七月二十日	七月二十日	五月十九日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日
定植期	六月十八日	六月十七日	六月十四日	六月十四日	六月十四日	六月二十八日	六月二十八日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日	六月二十四日
摘心期	二月十日	二月十日	六月二十五日	六月二十五日	七月一日	七月一日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日
畦間	一尺五寸	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺	一尺
株立	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日	七月五日
敷葉	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日	六月三十日
芽掻	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日
堆肥	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日	二月十日
人糞尿	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
過磷酸石灰	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
木灰	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
大豆粕	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
油粕	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
追肥	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
第一回追肥	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日	七月二十日
第二回追肥	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日	八月五日
中耕土寄せ	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日	八月二十日
豐回追肥	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日
病害虫防除	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日	八月二十五日

(備考) 蔬菜試験地ハ本年創始ニシテ且ツ水田埋立地ナル爲メ成績ノ完全ヲ保シ難シト雖モ豫備的ニ試験ヲ施行シタリ

一、茄子品種對立枯病關係試驗
本試驗ノ目的ハ立枯病強對性品種ヲ知ラントスルニアリ成績次ノ如シ

品種名	總本數	枯損本數	發病中ノモノ	計	發病歩合	反當收量
晚生山茄子	六〇	一	一	一	一・六	四七〇・五三三
早生蔓細千成茄子	六〇	一	六	一七	二八・三	三二七・八三三
南部長茄子	六〇	二	一	三	五・〇	五三八・八三三
佐土原長茄子	六〇	一	二	二	三・三	六一七・五六六
大野茄子	六〇	二	一	二	三・三	五七八・一九九
川手茄子	六〇	八	五	一三	二一・六	五〇九・一〇〇
蒂紫茄子	六〇	一	一	一	一・六	五七七・三九九
飛彈長茄子	六〇	一	一	一	一・六	七三八・九三三

(備考) 九月二十八日調査ヲ爲ス

二、茄子品種比較試驗

本試驗ノ目的ハ茄子ノ著名ナル品種ヲ栽培シ飛彈地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ成績次ノ如シ

品種名	供試面積	採收月日	個數	重量	個數	一反步當リ重量
晚生山茄子	九	自八月一〇日 至十一月三日	七四	一四・二六	二五四六	四七〇・五三三

早生蔓細千成茄子	九	自八月一〇日 至十一月三日	五五	九・八五	一八五三	三三七八三
南部長茄子	九	自八月一〇日 至十一月三日	六四	一六・七五	二一五〇	三三八八三
佐土原長茄子	九	自八月二三日 至十一月三日	七〇	一八・五二	二三五六	六二七五六
大野茄子	九	自八月一〇日 至十一月三日	七六	一七・四六	二四二〇	五六一九九
川手茄子	九	自八月一〇日 至十一月三日	五八	一五・七三	一九九九	五〇九・一〇〇
蒂紫茄子	九	自八月二三日 至十一月三日	七九	一七・三二	二四九六	五七七三九
飛彈長茄子	九	自八月二三日 至十一月三日	七二	二二・六八	二四七三	七三八・九三三

三、茄子播種期試驗
本試驗ハ飛彈地方ニ於テ茄子ノ播種期ト收量トノ關係ヲ調査シ最モ適當ナル播種期ヲ知ラントス成績次ノ如シ

供試品種早生蔓細千成茄子

播種期	供試面積	採收月日	個數	重量	個數	一反步當リ重量
四月十七日	九	自八月一三日 至十一月三日	七四	一三・八〇	二四八九	四六〇・三三〇
四月二十四日	九	自八月一〇日 至十一月三日	八四	一四・七六	二八〇九	四九二・〇三三
五月一日	九	自八月一〇日 至十一月三日	九一	一六・四四	三〇四六	五五四・七九九

四、胡瓜品種比較試驗
本試驗ノ目的ハ著名ナル品種ヲ栽培シ收量ヲ調査シ以テ飛彈地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントス成績次ノ如シ

品種名	供試面積	採收月日	個數	重量	個數	重量	個數	重量		
刈羽胡瓜	四 ^甲	自七、〇八	二五	三九一九	九三七五	二九三九五	二五	三九一九		
晚胡瓜	四	自七、二二	一六〇	一〇八二二	二一〇〇〇	八二〇九〇	一六〇	一〇八二二		
川手胡瓜	四	自七、二二	一八一	八〇三四	一三五七五	六〇二九五〇	一八一	八〇三四		
早生節成胡瓜	四	自七、二八	二〇〇	一〇六三五	一六五〇〇	七九七六五	二〇〇	一〇六三五		
金澤節成胡瓜	四	自七、二八	一四六	七三三五	一〇九五〇	五四二六五	一四六	七三三五		
支那三尺胡瓜	四	自七、二八	一九六	一〇七五〇	一四八五〇	八〇六二五〇	一九六	一〇七五〇		
馬込半白胡瓜	四	自七、二二	一九三	八三四八	一四四七五	六二六一〇〇	一九三	八三四八		
飛驒在來胡瓜	四	自七、二二	一三五	七二一〇	一〇二二五	五三三二五〇	一三五	七二一〇		
(備考) 刈羽胡瓜ハ發芽不良ニシテ優良ナル苗ヲ得サリシ爲收量甚タ少シ										
五、南瓜品種比較試驗										
試驗ノ目的、本試驗ハ各地著名ナル品種ヲ栽培シ形質及收量ヲ調査シ飛驒地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ成績次ノ如シ										
品種名	供試面積	採收月日	個數	重量	大	小	平均	個數	反當	重量
早生菊座南瓜	一〇 ^甲	自八、一四	七六	一九三三〇	〇五七五	〇〇四九	〇〇四七	二三四〇	五七一〇〇	二〇〇
ハツバード	一〇	自九、二〇	二四	一三三六六	一八五	〇三八五	〇五五七	〇七二〇	四〇一五八〇	二〇
縮緬南瓜	一〇	自八、一四	七一	一六二二二	〇六八八	〇〇六〇	〇二二六	二二二〇	四八三三六〇	二〇

赤羽縮緬南瓜	赤皮南瓜	扁蒲株間廣狹試驗	區別	供試面積	採收月日	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量
一〇	一〇	六、扁蒲株間廣狹試驗	區別	面積	採收月日	個數	重量	個數	重量	個數	重量	個數	重量
至自九、二二	至自九、二二	試驗ノ目的、本試驗ハ扁蒲ノ植付距離ヲ異ニシ形質收量及製瓢量ヲ知ラントス成績次ノ如シ	六尺一六尺	一〇・〇	八、三〇	一七	三〇六九二	五二〇	九二〇七六〇	四九五	一四八五〇	一六	一六
至自九、〇四	至自九、〇四	(備考) 水田埋立地ナル爲ニ結果少ク從ツテ製瓢歩合少ク成績ノ完全ヲ保チ難シ	六尺一九尺	一五・〇	八、三〇	八	二二一九三	二四〇	二四三八六〇	一三五	二七〇〇	一一	一一
至自九、〇四	至自九、〇四	試驗ノ目的、本試驗ハ葱株間廣狹ニ依リ品質及收量ヲ調査シ最モ適當ナル株間ノ距離ヲ知ラシメントス成績次ノ如シ	九尺一九尺	二二・五	八、三〇	二二	二〇九七八	二六〇	二七九七〇六	三五九	四七七八	一七	一七
		共試品種 飛驒葱	區別	供試面積	採收月日	本數	重量	本數	重量	本數	重量	本數	重量
			四寸距離	九 ^甲	一一、一五	二八八	七、七二〇	七、六三三	二五七、三三三				
			五寸距離	九	一一、一五	二二一	六、四九〇	七、三六六	二四五、五三三				
			六寸距離	九	一一、一五	一九六	四、一八〇	六、五三三	一九九、三三三				
			七寸距離	九	一一、一五	一七二	五、八二〇	五、七三三	一九三、九九九				

八、寸距離 九、
 八、牛蒡品種比較試験
 一一、一五 一一九 四、二三〇 三、九六六 一四一、〇〇〇

試驗ノ目的 本試験ハ各地著名ナル品種ヲ栽培シ品質收量ヲ調査シ飛騨地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ成績次ノ如シ

品種名	面積	採收月日	收量			一反歩當リ						
			本數	重量	本數							
東京赤莖牛蒡	六坪	一一・〇	九八	二九五〇	一一〇	二三五〇	一六五〇	三四六	六九五〇	一七二九	三五〇・四七九	
札幌牛蒡	六坪	一一・〇	九五	三〇九〇	七二	一四二〇	一三七	三〇四	六四三〇	一五二九	三二・四九九	
改良白牛蒡	六坪	一一・〇	九〇	三三三〇	八六	二二七〇	一八八	二五三〇	三六四	八〇〇〇	一八一九	四〇・四九九

九、胡蘿蔔品種比較試験

試驗ノ目的 本試験ハ各地著名ナル品種ヲ栽培シ品質收量ヲ調査シ飛騨地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ成績次ノ如シ

品種名	面積	採收月日	收量			一反歩當リ						
			本數	重量	本數							
巨大人參	六坪	一一・二	四〇	二九九六	四〇	一四七三	五二	〇・六六六	一一一	五・三五	六、五四七	二五、六七四九
札幌人參	六坪	一一・二	六二	三九〇〇	九四	二七三〇	一四	一・〇七〇	二六〇	七七〇〇	一一九九九	三八四・九九九
金時人參	六坪	一一・二	五	〇・三四	一三	〇・五二七	—	—	一八	〇・七五一	〇・九〇〇	三七・五四九
長地人參	六坪	一一・二	六九	三七九八	七	二七五	四五	〇・五七二	一九一	七〇九五	九五四九	三五四・七五〇
瀧ノ川人參	六坪	一一・二	五五	二・一〇〇	六	一九〇〇	二〇	一・五〇〇	二五二	五・一七〇	二、五四九	二五八・四九九

(備考) 金時人參ハ殆ント發芽セサリシ爲收量著シク減シタリ

一〇、甘藍品種比較試験

試驗ノ目的 本試験ハ早中晩ノ各品種ヲ栽培シ結球歩合收量調査ヲ行ヒ飛騨地方ニ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ成績次ノ如シ

品種名	面積	採收月日	株數	採收球數	重量	球數	一反歩當リ
アーリーサンマー	六坪	十月八日	五	二五	七、七〇〇	一、二五〇	三八五、〇〇〇
サクセツシヨン	六坪	十月八日	二	二八	一〇、六〇〇	一、四〇〇	五三〇、〇〇〇
オータムキング	六坪	十月八日	三	二七	一一、三六〇	一、三五〇	六一八、〇〇〇

一一、西瓜品種比較試験

試驗ノ目的 本試験ハ各品種ヲ栽培シ其ノ形質收量ヲ調査シ飛騨地方ニ適當ナル品種ヲ選出セントスルニアリ其ノ成績次ノ如シ

品種名	面積	採收月日	個數	重量	個數	一反歩當リ
アイスクリーム	九坪	至白	一三	一八・一一七	四三三	六〇三・九〇〇
マウンテンスキー	九坪	至白	一九	三二・三七〇	六三三	一〇七八・九九九
ラットルズネーク	九坪	至白	一一	一七・五二三	三六六	五八四・一〇〇
傳法寺西瓜	九坪	至白	二一	一四・八〇六	六九九	四九三・五三二
甘露露	九坪	至白	七	四・〇九七	二二三	一六三・六九九

左記蔬菜ヲ見本のニ栽培シ營業者ノ參考ニ資セリ

種類名	品名
蕃薯	日光種
蕃茄	ゴールデンクイン、スバークスアリアナ、アクム
西瓜	アイスクリーム、マウンテンスキート、スネーク、傳法寺西瓜、甘露
甜瓜	銀甜瓜、金甜瓜、梨瓜
菜豆	ケンタツキウオンダー
白菜	芝罘白菜、金州白菜、直隸白菜、包頭連白菜
玉蜀黍	マンモスホワイトコリ、甲州ゴールデンバンダム
菠薐草	日本在來種、ロングスタンデンダ

第八果樹

- 一、苹果品種試驗
供試品種 國光、紅玉、倭錦、祝
- 二、苹果模範栽培
供試品種 國光
- 三、櫻桃品種試驗
供試品種 那翁、黃玉、養老
- 四、葡萄品種收益試驗
供試品種 デラウエア、シヤンスラローズ、スキートオーター

五、見本栽培

西洋種	東洋種	杏
ホワイトドワイアンネ、オリエンタル、バートレット、ドワイアンヌジュニス、ジツセスダングレーム	來陽慈梨、廿世紀、太白	鏡臺丸、ローヤル、晚蜜柑、ノドク、リ、ムーアパーク、饅頭桃、水晶、アレキサンダー、金魁

[乙] 水稻原種ノ配付

原種圃ハ一反歩ヲ供用シ陸羽四三號愛國、縞坊主二十七號ヲ育成シ左記ノ通り飛騨三郡農會惠那郡農會及ヒ篤農家ニ無償配付セリ

陸羽四三號	〇〇六〇
愛國	一〇一五
縞坊主二十七號	一〇一五
(冬作)	

前年度ニ於テハ未タ試驗地完成セサリシ爲冬作成績ナシ本年度秋開始セル各種ノ冬作試驗ハ大正十三年度分ノ業務報告ニ登載ス

〔丙〕委託試驗

(水稻ノ部)

試驗地 イ、益田郡萩原町 奥村 重平 擔當
 ロ、大野郡丹生川村 刈安 源藏 擔當
 (一) 三要素試驗 (イ及ロニケ所)
 本試驗ハ各土壤ニ對スル肥料三要素有効量ノ豊否ヲ判定シ其ノ地力ヲ檢セントスルニアリ
 供試品種 イ、愛國
 試驗方法 當場三要素試驗ニ準據ス
 成績左ノ如シ

試驗區	イ、益田郡萩原町土壤		ロ、大野郡丹生川村土壤	
	十株平均 草丈	十株平均 一株本數	生葉坪當量	乾燥坪當量
無肥料區	三・〇〇	一・〇〇	一・八六〇	〇・八二六
無窒素區	三・三〇	一・〇〇	二・一六〇	〇・八八八
無磷酸區	三・六〇	一・三三	二・九〇〇	一・〇五四
無加里區	三・五〇	一・三三	三・〇四〇	一・〇六六
三要素區	三・八〇	一・五	三・一二〇	一・一九八
各區割合				三元素區ヲ百トセル各區割合
				六九
				七四
				八八
				八九
				一〇〇

右成績ニ依レハ本土壤ハ三成中窒素最少ケレ其他ノ沖積地土壤等ヨリハ其量比較的多ク磷酸及加里成分一般ニ少ク之カ施用ノ効少カラサルヲ認ム

ロ、大野郡圓川村土壤

試驗區	十株平均 草丈		十株平均 一株本數		一坪當量 生葉重量		一坪當量 乾燥重量		各區割合
	草丈	本數	生葉重量	乾燥重量	生葉重量	乾燥重量			
無肥料區	三・八一	一・〇〇	七・五	〇・八〇〇	四・四七	七四			
無窒素區	三・九〇	一・〇〇	七・六	〇・八八〇	四・九二	八一			
無磷酸區	四・三二	一・三三	一三・六	一・五六〇	五・三九	八九			
無加里區	四・三七	一・三三	一四・九	一・七二〇	五・七四	九五			
三要素區	四・四〇	一・五	一五・四	一・七二〇	六・〇四	一〇〇			

右成績ニ依レハ本土壤ハ三成中窒素最少シ然レ共當場土壤等ニ比シテハ其ノ量豐富ナリ磷酸成分概而少ク窒素ニ亞テ肝要ノ成分タリ

(二) 肥料配合法試驗

試驗地 大野郡丹生川村
 試驗區 在來肥料區改良肥料甲區改良肥料乙區
 肥料 在來肥料區 反當用量及用法左ノ如シ

肥料名	反當用量	用法		
		反當	三當	成分
山草肥	一五〇	肥	肥	肥
厩肥	一八〇	肥	肥	肥
人糞	九〇	肥	肥	肥
石灰	二〇	肥	肥	肥
石		肥	肥	肥
里		肥	肥	肥
酸		肥	肥	肥
素		肥	肥	肥
二		肥	肥	肥
〇		肥	肥	肥
七		肥	肥	肥
八		肥	肥	肥
〇		肥	肥	肥

反當室素一貫五百匁區
 同 二貫匁區 三三八・〇
 同 二貫五百匁區 三四六・五
 同 三貫匁區 三六六・〇
 三六九・〇
 二・八四一
 三・三七一
 三・〇九五
 二・七一四
 二・八四一
 稍倒伏

試驗地ハ試驗創始ノ爲地力平均ヲ缺キ前作殘肥ノ影響アリ

(蔬菜ノ部)

擔當人 大野郡丹生川村 辻 内 文 助

一 蔬菜桑樹間作試驗

試驗ノ目的 本試驗ハ飛驒地方ノ自然形桑樹ノ間作トシテ各種蔬菜栽培ノ可否ヲ研究シ收量ヲ調査シ最モ收益アル蔬菜ヲ選出セントス

區	採收月日	結球數	反當採收 不結球及腐敗株數	合計	收量(反)	結球歩合
第一區 畦間 一尺五寸	自 九月九日	三四〇	七八〇	四・一〇〇	八八四・〇〇〇	八三・三
第二區 畦間 二尺五寸	自 九月九日	二五三〇	七二七	三・二四七	八八・〇〇〇	七四・三
第三區 畦間 二尺五寸	自 九月九日	二・二〇〇	六〇	二・一八〇	一・〇九〇・〇〇〇	九七・二
第四區 畦間 三尺	自 九月九日	一・四五〇	一〇〇	一・五五〇	七四四・〇〇〇	九三・五

品 種 名 採收月日 個數 生果反當收量 干瓢製造量 製瓢歩合

圓 形 種 九月九日 三七〇 一・一八〇・〇〇〇 二九・五〇〇 一一・五六

一、甘藍栽植距離試驗
 試驗ノ目的 本試驗ハ飛驒地方ニ於ケル適當ナル甘藍栽培法ヲ研究シ適當ナル植付距離ヲ知ルト同時ニ結球歩合收量ヲ調査セントス
 其ノ成績次ノ如シ

區	採收月日	結球數	反當採收 不結球數	合計	收 量	結球歩合
第一區 畦間 一尺五寸	自 十月二日	一九〇〇	八〇〇	二・七〇〇	九六五・〇〇〇	七〇・七
第二區 畦間 二尺五寸	自 十月二日	一・五〇〇	七〇〇	二・二〇〇	九六〇・〇〇〇	六八
第三區 畦間 二尺五寸	自 十月三日	一・〇〇〇	四〇〇	一・四〇〇	七四〇・〇〇〇	七六

(備考) 植付當時害虫ノ發生多キ爲充分ノ發育ヲナサ、ルモ九月以後ニ至リ恢復シ良好ニ向ヒタリ

一、茄子品種比較試驗
 試驗ノ目的 本試驗ハ飛驒地方ニ於ケル最モ適當ナル栽培法ヲ研究シ形質收量ヲ調査シ適當ナル品種ヲ選定セントスルニアリ其ノ成績次ノ如シ

區別	採收月日	個數	反當收量	重量
大野 茄子	自 九、一〇 至 九、一五	一七・四〇〇		三七二・四〇〇
晚生山茄子	自 九、一〇 至 九、一五	一二・〇四〇		二二八・七六〇

[丁] 雜 部

第一 野鼠チブス菌ノ配付

野鼠チブス菌配付規定ニ基キ飛驒三郡町村農會ニ配付セシチブス菌ノ數量竝ニ實施町村數實施面積左ノ如シ

實施町村數	實施面積	チブス菌數量
一二ヶ町村	益田郡 三七九町歩 大野郡 三〇五町歩 吉城郡 九五五町歩	計 一六三九町歩
		固體培養(試驗管) 五四六〇本 液體培養(ビール壺) 二五三本

第二 職員出張

郡及郡町村農會其他各種團體ニ係ル農事講習講話品評會審査委託試驗地設計調査或ハ實地指導等ノ爲メ出張セル回数五十三回ニシテ其ノ日數百四十七日ニ及ヘリ之レカ區別別左ノ如シ

出張用務	管内	管外
農事講習	回数 四 日數 二	回数 一 日數 一
農事講話	回数 一〇 日數 二四	回数 一 日數 一
品評會審査	回数 三 日數 五	回数 一 日數 一
委託試驗事項	回数 八 日數 二九	回数 一 日數 一
設計及調査	回数 九 日數 二八	回数 一 日數 一
實地指導	回数 四 日數 一〇	回数 一 日數 一
其他	回数 一五 日數 三九	回数 一 日數 一
計	回数 五三 日數 一四七	回数 一 日數 一

第三 農事講習及傳習生

各種團體ヨリノ申請ニ應シ職員ヲ派遣シ農藝ニ關スル講習及傳習ヲナシタル本年習得生數五百八十六名ニ達セリ

第四 印刷物ノ配付

本年度印刷物刊行一般當業者ニ配付セルモノ左ノ如シ

農事試驗場分場一覽表	五百部
肥料成分表	三百部
計	八百部

第五 質問 應答

當業者ノ質問ニシテ當場ニ出頭實地ニ就テ指導解説ヲ受ケタルモノ多數アリ文書ヲ以テ質問セル件數二百二十一件ニ及ヒ之ニ對シ詳細ニ回答ヲ發シ參考トセシメタリ

第六 文書收受及發送件數

本年度内ニ於ケル文書ノ收受及發送件數左ノ如シ

總計	五百八十二件
內 譯	
收受件數	三百九十八件
發送件數	百九十四件

第七 參觀 人

一般當業者青年團員婦人會員學生兒童並ニ各種團體等ノ參觀者多ク四千五百十七名ニ達セリ

第八 農事練習生

本年四月乙種農事練習生トシテ入場許可シタルモノ左ノ如シ

原籍	氏名	原籍	氏名
吉城郡河合村	松田利夫	大野郡大名田村	野川登太郎
吉城郡古川町	加藤正夫	益田郡竹原村	曾我義郎
吉城郡國府村	牛丸利郎	吉城郡小鷹利村	丸山春造
吉城郡小鷹利村	木下秋三		
計	七名		

第九 職員

分場長	產業技師	北川 尹 行
	產業技手	小太刀 文 作
	產業技手	上田 光 雄
	產業主事補	伊佐治 眞 吾

大正十三年十二月十五日印刷
大正十三年十二月二十日發行

(非賣品)

岐阜縣立農事試驗場

(岐阜市外加納町)

岐阜縣稻葉郡加納町一丁目二百十一番地

印刷者 杉山伊三郎

印刷所 岐阜縣岐阜市美江寺町五十八番地
刑務所 作業部

142
291

終